

在日イタリア商工会議所会員で、日本進出を希望するイタリア企業の代理店業務などを行うコンサルタント業のディサント（福岡市）は9日、九州・中国地方を主な商圏としたイタリア食材の卸売り事業を始めることを明らかにした。同社によると、東京や大阪に本社を置くイタリア食材卸売業者はあるが、福岡県内に本社を置く業者は初めてという。博多港から直輸入することで輸送コストを削減し、手ごろな値段で販売する。

同社は、イタリア食材ブランド「AMIRRA（アミラ）」を立ち上げ、8月ごろからパスタ、トマト缶、オリーブオイルの3種

福岡初のイタリア食材卸 博多港から直輸入

をレストランや小売店に販売する予定。ワインやバルサミコ酢など、順次品数を増やしていくという。売り上げ目標は非公表。将来的にイタリア食文化の発信基地として、「AMIRRA」を紹介するアンテナショップの設置も検討している。同社の吉村友見セールスマネジャーは「良いものをできるだけ現地の感覚で、気軽に使えるようにしたい」と話している。

また同日、福岡市で在日イタリア商工会議所福岡事務所（同）の2010年上半期活動と今後の事業予定の紹介があり、同事務所が10～11月にイタリア食文化講座を開くことなどを報告した。